

第40回清榮祭 ダンス規定

第40代 清榮祭実行委員会 ステージ統括部署

参加を希望する団体及び出場団体は、以下の内容を熟読し、遵守すること。

1.参加するにあたって

- 団体名・公演内容が公序良俗に反するもの等は、これらを一切認めない。
- 団体名のオマージュに関して、法律に反しかねないと判断されたものに関しては変更を命じることがある。
- 1人につきバンド・ダンス・劇のうち合計2団体まで出場を認める。(なお、ステージ部署統括の特技披露等の有志舞台については、団体数制限の対象外とする。)
- 参加を希望する団体には1団体につき、ステージ統括部署の清榮祭実行委員から、「担当文実」を設ける。
- 担当文実の業務は以下記載のものとする。
 - 顧問する担当団体の撮影・リハーサル・本番時の監督
 - 練習中・公演中の体調不良時の救護
 - 顧問する担当団体の撮影動画の確認
 - 化粧・衣装の確認
- 担当文実が何らかの理由でリハーサル等、業務ができない場合、当該の有志団体の担当文実の業務はステージ統括部署担当教員が行う。
- 出場団体の代表者は、予め告知される撮影・リハーサル・本番の時間帯をあらかじめ担当文実に知らせておき、清榮祭実行委員による点呼までにメンバーを揃えなければならない。
- 出場団体の代表者だけでなく出場団体のメンバーすべてが「第40回清榮祭 ダンス規定」(以下、本規定)の内容を理解しておかなければならない。

2.注意事項

- ダンスを行う団体において、ステージ及び備品を傷つける恐れのあるアクロバティックな動き、またはそれと同等に危険性のあるパフォーマンスを禁止する。

以下の行為は、安全上の理由および備品保護の観点から一切禁止とする。

1. 自重を超えた滞空・回転を伴う動作

- 宙返り全般: 前方・後方・側方を問わず、足以外の部位が頭より高く上がる回転動作 (ハントスプリング、バク転、バク宙など)
- 高いジャンプからの着地: 膝や腰への負担が大きく、着地時にステージへ強い

衝撃を与える飛び降り

2. 補助・連携を伴う危険動作(リフト等)

- 高層リフト: 人が人を持ち上げる際、持ち上げられる側の腰の位置が、土台となる人の肩の高さを超えるもの
- 投擲(とうてき): 人を空中に放り投げる、または受け止める動作

3. ステージへの衝撃・損害を与える動作

- 倒立・三点倒立: 長時間の倒立や倒立状態からの移動
- スライディング・回転: 膝や背中を強く打ちつける、または床との摩擦で床材を傷つける恐れのある激しいフロアワーク(ブレイクダンスのヘッドスピンやパワームーブなど)

- アクロバティックな動きを清榮祭実行委員会への報告なしに行った場合は直ちに出場資格を剥奪し、公演を中止とする。
- リハーサルの際、公演の中に上記の動きが含まれていないか判断する。
- 出場団体は、清榮祭実行委員会にあらかじめ公演内容を伝えておくこと。
- 観客に、公演に参加して貰う場合は、清榮祭実行委員会に伝えること。
- 観客の演出協力を予定している(サクラを仕込む)場合、その観客も団体メンバーに含めること。
- 当日の衣装については、清榮祭実行委員会が定める
- 「 第40回清榮祭 服飾規定.pdf」を必ず参照のうえ、各自で購入または作成をすること。なお、「 第40回清榮祭 服飾規定.pdf」に遵守している、既に所有している衣服や、体操服などの学校指定の服装を使用することも可能である。
- 本規定を違反・無視するまたはそれに該当する行為が見られた場合、その後のその団体の撮影及び、出場資格を剥奪する。
- リハーサルや前日の準備等の集合に無断でメンバー全員が欠席した団体は、公演を不可とする。
- 清榮祭実行委員及び教員に指示を受けた場合、速やかに従うこと。その指示に従わない場合、その団体の出場資格を剥奪する。
- 本規定は、変更となる場合がある。清榮祭実行委員会からの連絡を随時確認すること。
- SNSを用いた広報活動については各自の判断に委ねることとなるが、[生徒諸規定](#)17ページの9-②を遵守すること。

3.公演について

- 中学3年生及び高校生が参加可能とする。
- 学年混合チームでもよい。その場合のコンテストの対応は以下の通り行う。
 - 基本、メンバーの数が多い学年のコンテストに参加するものとする。
 - チームのうちで学年均等にメンバーが居る場合、学年が高い方へ揃えること

とする。

- コンテスト(高1、高2対象)への参加は自由とする。 ※またコンテストの掛け持ちは禁止とする。
- 中学生の出演時間は5分、高校生の有志ダンスの出演時間は7分、コンテスト出演団体の出演時間は10分とする。

※司会の紹介や、出場者へのインタビューなどは含まない。

※団体数の兼ね合いによる時間の変動、あるいは抽選が発生する可能性がある。

- 会場は屋外ステージ(雨天時は食堂)を予定している。
- 出演予定時間の10分前には着替えを済ませた状態で屋外ステージ(ステージ裏)の点呼場所に集合すること。
- 集合時間にメンバーが遅刻した場合、その日の公演を中止とする。
- ステージでは外靴で踊ること。ステージに傷がつかない外靴であれば衣服と同様に私物を持ってきて構わない。

4. その他

- 私物(ダンスに必要なもの)を持ってきてもよいが、忘れ物、取り間違いなどが起こらないよう、持ち物への記名を必ずし、私物の管理を徹底すること。
- 持ち物を一つにまとめるためにナップサックを用意すること。清栄祭実行委員が確認をするため、リハーサルの日にはナップサックを持ってくること。
- その他、イス等備品を用いたい場合も必ず事前に報告すること。

5. 練習について

【校外での練習について】

- 下校中の練習は認めない。校則をしっかりと守って練習すること。
- 夏季休業中を含め、深夜(22:00～4:00)まで練習することは禁止する。
補導されるなどの生徒指導に当たる行為をした場合は、出場資格を停止する。

【校内練習について】

- 混雑が見込まれるため、担当文実が管理を行う
- 生徒のみでの撮影を禁止とする

★ 時間 朝 7:00～8:40

放課後 ～17:50(時間厳守)

☆その他、教員に注意や指示を受けた場合は速やかに従うこと。

☆下記の規定が守れない場合、その団体の活動を禁止とする。

- 練習後、朝礼、最終下校に間に合わせる。守れない場合、出場停止となる。
- 衣装を着用して、練習をすることは禁止とする。

- 校則に則った服装で活動すること。体操服(青雅祭や清榮祭で作成した T シャツも可とする)または制服がそれに該当する。
事故や怪我、体調不良が生じた場合は、その大小に関わらず担任に連絡し、養護教諭の指示を仰ぐこと。
- 活動できる場所は限られているため、トラブルのないように互いに配慮しながら練習すること。
- 部活、通行人の邪魔にならないように活動すること。
- 音源の用意方法について不適切な用意方法は認めない。
- また、使用する音源は、PDF 第40回清榮祭 著作権規定.pdf に従うこと。著作権に抵触する場合、音源の変更を求める。
- 団体名は公序良俗に反しないものにする。
- また、団体名のオマージュに関して、法律に反しかねないと判断されたものに関しては変更を命じることがある。

規定に関する質問等は、ステージ統括部署(2026seiei-stage@edu.nishiyamato.ed.jp)まで